

子どもの学びとは…

こども園などの子どもの学び(学習)と連想される場合、学校のような授業や読み書き計算などの知的ものをイメージされる方が多いと思います。0歳から6歳までの子ども達が過ごす、教育保育施設の中の学び(学習)は、全てが**子ども達の自発的な遊びに由来するもの**です。これは、保育所保育指針や幼稚園教育要領、認定こども園保育教育要領の中にははっきりと示されています。

先日、朝方の冷え込みが強く園庭の一面は、キラキラの霜模様でした。寒いだろうからと早々と焚火の用意をしたものの…、誰も寄ってつきません…。それもそのはず。この朝の子ども達の一番の関心は、「霜」や「霜柱」「氷」でしたから。テーブルの霜を集めて丸める。バケツの水を取って王冠に見立たてる。焚火の側において氷が溶けていく様を観察。表面は凍っているのに中は水であることを発見。歩けると思って踏み入れた氷が割れて靴がびしょり。築山の霜柱をわざと潰して滑る。

庭のあちらこちらで、それぞれの発見や試み、観察があり、子ども達の探求心に火をつけた冬の朝に幸せを感じるひと時でした。正にこの朝のこども園の庭は、子ども達の学びの宝庫でした。

数年前、娘の高校受験について行った時のことです。その日も寒が強く、辺りは霜で真っ白。8時過ぎから庭に出て、氷や霜で遊ぶ我が園の子ども達をニヤニヤしながら思い浮かべることでした。ふと、道を挟んだ園の庭に目をやると子どもどころか職員もいません。時間は9時30分。丁度登園の親子に、職員が「おはようございます。寒いから早くお部屋に入ろう!」と声をかけていました。寒がる子どもに対して、このような言葉がけも十分に有です。

しかし、残念に思ったのは、子ども達が庭に出てきたのは、11時だったことです。庭の氷は溶けている頃。朝の庭は、冬ならではの自然事象が一杯のはずなのに、それに触れられない環境は、子ども達の自発的な学習の機会を奪っていることと同じです。もしかしたら、この日より以前に霜や氷の経験があったのかもしれませんが。

しかし、**毎日の体験と体感が大事**なのです。冷え込みによって寒さは違います。張る氷の厚さも違います。霜柱の高さが違います。霜の量が違います。吐く息の白さも違います。霜解けの庭はびちゃびちゃです。子ども達は、**毎日の生活の繰り返しの中にこのような現象の変化に気づき、不思議がり学んでいくのです。**

この経験の積み重ねが、学校教育や生涯にわたる学びの基礎を培うと言われています。園の庭が、子ども達の遊びや学びの活動を展開できる、素敵な場所であり続けるよう私達も努力していきます。

火を焚くということ

12月の半ば過ぎから焚火をすることが多くなりました。冬らしい寒さになった証拠です。園では土を30cm掘って耐火レンガでカードした所を囲炉裏と呼び、ここで焚火をします。私は、火を起す前に必ず前回の燃え残りの炭や灰を取り除いてから焚き物をセットします。これは、明治生まれの祖父からの教えです。祖父は毎日の風呂焚きの時、必ず焚口の灰を取り除いてから火をつけていました。私が時々これをサボると中々燃え上がらないばかりか、途中で灰を掻き出す始末になってしまうことがしょっちゅうでした。それから祖父は、「一発で火を起こせ!」が口癖でした。マッチやライターを何回も点けて失敗することは、もったいないと思っていたのでしょう。

小学生の私はもったいないよりも一発で火を起こす祖父がとても格好良く思えてなりませんでした。

そして今、子ども達の前で毎回灰を掻きだし、一発で火を起こしています。火を起こす時私は『ファイヤースターター』なるものを使います。ファイヤースターターとは、「*ロッド」と称する金属製の棒を火打石の役割をするナイフで削り飛ばして火花を起こします。その火花が、燃えやすいティッシュに点き燃え広がるやり方です。これが、女の私にとって結構な力とコツが要ります。中々点かない時「ごめん、休憩…」と子ども達を笑わせながら休み休み火花を散らしています。しかし、一旦火が点くとボヤボヤする暇は、ありません。直ちに小枝や棒状にした段ボールを焚べて炎を上げます。

「スゲー!」「カッコイイ!」「一発で燃えた!」と子ども達の言葉。**私の自尊心が上がる瞬間です。**また、枝や板を膝で割ったり、竹などを斜めに掛けて足で叩き割るやり方も子ども達の前で見せています。これは、のこぎりなどの道具が無い場合の手法です。この時も「園長、スゲー!」の声。私は焚火をする時いつも「私が、やることをよく見ていてね」と言います。今、子ども達が火を身近で体験できる環境は、少なくなっています。ガスバーナーやチャッカマン、着火剤などを使えば簡単に火を起こせる時代。マッチの扱いを知らない若い職員もいます。未曾有の災害が起こった時、**火を起こせることは大きな「生きる力」になると考えます。**暖をとる、煮炊きができる、癒しをもらえる火の体験の機会を引き続き設けていきます。



*左がロッド。この棒がマグネシウムなどの成分。ナイフの刃で擦ると科学反応が起こり火花を出します。ロッドが水に濡れても火を起こせるので、災害時に備えておくとも良いかも。